

中学3年まで入院も通院も無料に

6万7790人分署名の請願 — 継続審議へ

自民、公明、みらいが反対し採択せず



福岡市議会第2委員会は1月26日、中学3年までの医療費無料化を求める請願の審査を行いました。

日本共産党、市民クラブ、社民、維新が請願採択を主張しましたが、自民、公明、みらいが反対したため、継続審議となりました。

請願は「中学3年まで医療費無料化をすすめる会」が昨年夏から署名を集めて9月に提出し、総計は6万7790筆に達したものです。多くの小児科医など医療関係者、保育所や子育て世代に共感が広がり、短期間で集められました。この市民の切なる願いを踏みにじった自民、公明、みらいの態度は許されません。

日本共産党は 早期実現を求めて追及

日本共産党の中山いくみ市議は委員会で、子ども医療費助成制度が全国的に拡充される中、政令市でも8市が入通院とも中学3年まで助成しており、福岡市の現状（通院・就学前まで、入院・小学卒業まで）は最低レベルだと指摘。選挙で「拡充」を公約したのに、いまだに具体化しない高島市長の姿勢を批判し、中学3年までの医療費無料化をただちに新年度から実施するよう要求しました。



子どもの貧困が広がるなか、子どもの医療費無料化の拡充を求める声が大きく広がり、短期間に署名が多数寄せられました。市も市議会もこの声にこたえるべきです。（写真は昨年の請願提出のようす）